

地域横断型の部門事業部編成で生産力強化

第3次中長期プラン本格稼働 山本洋一 福山コンサルタント社長

—13年6月期決算は2期ぶりの増収増益でした。

山本 政権交代による公共投資の増加を受けて、前期は単体連結ともに増収増益となりました。特に巨大連動地震や豪雨災害に対する防災、減災対策、橋

—13年6月期決算は2期ぶりの増収増益でした。山本 同事業はまもなく業務完了を迎えますが、官民一体となつた事業促進PPPという新しい公共事業手法の実績であり、今年には新たに建設会社とのJ-Vで釜石市の住宅地の高台移転事業に参画しています。

—今期から第3次中長期プランが開始しました。

山本 これまでは受注拡大のために、製品や技術の開発と活用に取り組んできましたが、当面は安定した受注環境を見込んでいます。第3次プランの中期3年間では、受注の受け皿となる技術や品質の維持向上を図るべく生産力と生産体制の強化に取り組みます。

—以前から各事業部門の地域連携体制構築を進めていました。

山本 各事業地域でエリアを超え連携した生産体制がより機動的に機能するように、交通リスクマネジメント、ストック

マネジメント、環境マネジメント、事業管理の5事業を軸に全国で「地域横断型部門事業部編成（マトリクス型）」を推進しており、2年間をめどに完成させる計画です。

すでに、これまで交通系事業が中心だった中国地方で老朽化した橋りょうの保守点検業務と、水質汚染対策の環境調査業務を受注するなど、成果も出てきています。

—ほかに生産体制強化の取り組みは。

山本 人員増強が急務であるため、技術系を中心に新卒、中途を合わせ年間10人程度の採用を継続し、当社独自の教育訓練システムによる個々の社員の技術力向上にも尽力します。

また作業分野における外注の積極活用と、全国33カ所に設けている事業所の人員配置の見直しによる生産力の集中と効率

化にも努めます。
—公共事業以外の分野への進出も構想しています。

山本 第3次プランは、中期戦略としての既存事業の生産力、生産体制の強化と同時に、長期戦略としての新規事業創出を進める「デュアルモード方式の事業戦略」を採用しています。現在、戦略子会社を中心に外部の力も借りながらプロデュースチームの編成に着手しており、公共事業分野以外にも視野を広げた事業展開を行っていくことで、創業100周年に向けた新たな成長基盤を構築する考えです。この新規事業ではM&Aが軸となるので、将来的な持株会社体制への移行も具体的に検討していくことになるでしょう。

また今期は東京ディズニーリゾートを運営する会社から周辺地域の交通渋滞対策検討業務を受注しました。従来なかった民間顧客からの大規模案件であり、民需開拓への足掛かりになればと期待もしています。14年も多様な展開にチャレンジしていきたいと思っています。

